

【旭区】令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和4年2月4日(金) 14時30分 ～ 16時00分
場 所	旭区役所新館2階 大会議室
出席者	<p>【座長】 こがゆ 康弘 議員</p> <p>【議員：4名】 佐藤 茂議員、河治 民夫 議員、 大岩 真善和 議員、木内 秀一 議員、</p> <p>【旭区：18名】 権藤 由紀子 区長、千田 満 副区長、 亀井 直樹 福祉保健センター長、 富士田 美枝子 福祉保健センター担当部長、 渡邊 知幸 旭土木事務所長</p> <p style="text-align: right;">ほか 関係職員</p>
議 題	<p>【議題】 令和4年度予算（案）について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 令和4年度予算編成に向けた「区提案反映制度」の項目について (2) 横浜市旭区大規模団地再生モデル事業5年間の振り返りについて (3) 鶴ヶ峰連立ニュース第4号の発行について</p>
発言の 要 旨	<p>(議題)</p> <p>1 令和4年度予算（案）について</p> <p>木内議員：デジタル化について、特に区役所の環境整備がなかなか進んでいないという声が上がっている。区で独自に何か工夫をしているのであれば、参考までに聞かせていただきたい。</p> <p>今市総務課長：区役所としては、庁内外の会議等をWEBでできるよう、昨年度から機材等の整備を進めている状況である。</p> <p>木内議員：土木事務所も含めて進めていっていただきたい。</p> <p>大岩議員：地域課題解決型パートナーシップ推進事業について、コミュニティカフェやシェアカフェの支援も行っていると思うが、地域にあるカフェが1つ1つ増えていくような試みも大事であり、是非進めていただきたいと思っている。既存のものを支援するだけでなく、新しいカフェが少しずつ増えていくような後押しをする試みを行っているのか教えていただきたい</p>

い。

蒲田区政推進課長：新しい事業者を増やすという点については、あさひみらい塾という地域づくり大学校をやっている。今年度は12名の方々に参加いただき、自分たちの得意とする分野を基軸に地域活動をこれから始めたいという方々に向けた支援を行っているところである。また、今年度から新設した「あさひのつながり応援補助金」を使って後押しできるよう、繋げている。

大岩議員：是非よろしく申し上げます。

次に、「畠山重忠公」魅力発信事業だが、いい機会なので色々な歴史とかもあると思うので掘り起こしていただきたいと思っている。その中で他自治体や企業等と協力して色々なことをすると記載があるが、具体的にはどういうことを考えているのか。畠山重忠公とゆかりのある深谷市や鎌倉市辺りだとは思いますが、教えていただきたい。

中村地域振興課長：自治体との連携については、深谷市と2月20日の区民まつりで協力してお互いを紹介し合う予定であったが、残念ながら中止となってしまった。また、具体的に決まっているわけではないが、学校関係者から連携できないかと話をいただいている。都岡小学校は令和4年で開校150周年を迎え、校章が畠山重忠公の家紋を使っていることもあり、非常に畠山重忠公を大事にしている。学校も深谷市との連携に乗り気なので、そういったことをしっかりと支援しながら、区民、区外の皆様にも旭区を知っていただくつもりで努めていきたいと考えている。

大岩議員：よろしく申し上げます。

最後に、文化観光局主催の音まつりのプログラムの中に、野外ライブをするということで補助金を用意しており、手を挙げれば参加できるという仕組みになっていて、開催場所としてはみなとみらい周辺を想定していると思う。旭区でも局と連携してやれることが何かないのか質問したい。

中村地域振興課長：音まつりに関しては、旭区としても局と連携して盛り上げていきたいと考えている。また、ご指摘いただいたように従来から旭区には「あさひジャズまつり」の野外フェスをやっているの、そういったイベントや、駅前などで企業とも実施

の可能性について調整し、皆様が楽しめる場を提供できればと考えている。

河治議員：同じく「畠山重忠公」魅力発信事業についてだが、他区から来る方の関係でいうと、ズーラシアに多くの方たちが見えると思うが、ズーラシアとの連携等については考えているのか。

中村地域振興課長：先ほどお配りした、「あさひのゆかりの地マップ」を通じて、旭区の名称をPRしてより多くの区外からの観光、また区内の方にも旭区をよく知っていただくよう取組を推進していく。また、ズーラシアとの連携については今後調整していく。

河治議員：よろしくお願ひします。

希望ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する検討について、これまで地域の方々の色々な意見をまとめられてきたと思うが、それについての成果、結果についてはどのような形で地域に知らせていただいているのか。また、いつ頃整備の方向性が見えてくるのか。

蒲田区政推進課長：これまで、学校や地域ケアプラザなど希望ヶ丘に関わりのある方々へのヒアリングや地元の3連合の皆様とワークショップを開くなど、各公共施設等色々なところからお話をいただき、地域の魅力や課題をまとめてきた。昨年の6月下旬に、各連合にまちづくりの方向性や目標について骨子案を説明している。この案を作ったときには、一部の方の意見に留まってしまっていたので、「広くもっと多くの方から、ご意見を伺って」というご要望をいただいたので、今年度に大きいワークショップを開こうと試みていた。3月頃に開く予定であったが、コロナの急拡大で見合わせている。現在、ワークショップを開くにあたっての委託自体は契約をしているので、違う形で皆様のご意見を伺う方法を考えているところである。そして、それを来年度にかけて集約して再度地域に説明をすることになる。整備がいつ頃になるのかという点については、現在、地権者を中心とした地域まちづくりグループで、「まちづくり構想」を今後作っていくことになるので、そちらに集約して動き出していこうと考えている。具体的な時期については今の段階で伝えることはできない。

河治議員：非常に関心のある事業なので、後ほど資料を提出してほしい。

次に、郊外部における働く場の創出事業について、旭区には大規模団地がたくさんあるが、団地だけの問題ではなく事業の創出等、旭区の特性というところから言えば高齢化が進んでいる。その点から言えば、自治会・町内会とはどのような形で事業が進められるのか。

蒲田区政推進課長：現在、団地の開発事業者と設置に向けた調整をしているところである。調整結果がまとまれば、地域に向けて話をしていくことになる。

河治議員：経済局と連携しているが、社会福祉に関わる部分もあると思うので、内容によっては健康福祉局やこども青少年局との連携は考えていないのか。

蒲田区政推進課長：本事業は経済局企業誘致・立地課との区局連携事業であり、基本的にこれまで都心で誘致立地をしていたものに加えて郊外部への誘致立地を目指すモデル事業であるため、現時点では経済局と連携している。ただ、郊外部についてはビジネス利用の方々に加えて、地域住民が集える空間を用意しているケースもあるため、地域のつながりやそこで働く人とのつながりが作れるといいと思っている。

河治議員：よろしくお願いします。

また、旭区の施設の利用者が多く利用している三ツ境駅のエスカレーターについて、バリアフリーの観点からすると、上りのエスカレーターはあるが、下りのエスカレーターがないので、旭区の課題という形で捉えていただくということが必要だと考えている。それについてはどう考えているのか。

蒲田区政推進課長：笹野台連合から道路局に要望が出ているという話は伺っている。それを受けて道路局で地質調査やエレベーターの設置に向けた動きをしているという話は聞いている。旭区としても、今後 2027 年に開催される国際園芸博覧会の際に三ツ境駅はシャトルバスの運行など大きな役割を果たしてくるかと考えているので、瀬谷区とともに園芸博までに完成させてほしいと要望をしている。

河治議員：是非おねがいします。

最後に、帷子川の改修の問題と白根通りの整備がいつまでかかるのか説明していただきたい。

石田土木事務所副所長：1点目の帷子川の件については、道路局の河川事業課が主体となっている。現在の事業スケジュールとしては、令和15年度を完成目標としている。今年度も河川改修事業は進んでおり、昨年度までに東洋ガラスの用地が購入できたので、順次進んでいくものと考えている。2点目の白根通りについては、令和4年度の完成に向けて進めているが、一部用地を買収するのに協力いただけていないところもある。買収できている部分については、順次進めていく。買収の残りについても進めていくこととなっている。

河治議員：相手がある大変な事業だとは思いますが、是非よろしく願います。

佐藤議員：要望として、旭区魅力発見事業について、来年度末の東急直通線の開業は旭区にとって歴史的な位置づけに当たる時期になると思う。旭区は人口が減少してきており、住民をつなぎとめることができるような地盤づくりを整えることができる最適な時期に入ることとなる。JRの直通化に伴い、私自身も保育園をやっている中で感じたことだが、保土ヶ谷区から転入してくる方もいた。今後はさらに幅広く、相鉄線沿線から旭区に転入してくる方が増えると思う。相鉄沿線の中では二俣川駅は魅力的な駅であり、土地も比較的安い。まちの魅力づくりといっても限界はあるが、転居を考える方は子育てを重視される方が多いので、旭区ならではの子育てをしやすい魅力づくりをしてほしいと思っている。例えば、旭区は農地が多いが、利用していない方が多い現実がある。自分たちの手ではどうにもならない農地が結構あるため、宝の持ち腐れになってしまっている部分がある。ただ、子育てをされている方で週末に子供に農業を教えたいと考えている方がいるという話も聞いている。環境創造局との連携が必要になってくるとは思うが、比較的容易にマッチングすることができると考えている。次年度に向けて、旭区ならではの魅力づくりを検討していただきたいと思います。新しく転入してこられる方が魅力を感じるような住環境を作っていかなければならないと考えているので、是非よろしく願います。

権藤区長：コロナ禍で非常に厳しい中で、子供たちに多様な体験をさせた

いという地域の方々の熱がすごくある、非常に素敵な区だと思っている。先ほどご要望いただいた部分についても、考えていきたいと思っている。今できていることも磨き上げていきつつ、これからも色々な取組を耕していきたいと思っている。貴重なご意見ありがとうございます。

佐藤議員：よろしくお願ひします。ズーラシアや市民の森など緑が多い区なので、それを活かした、魅力づくりを、我々も含め双方で力をいれて取り組んでいけたらと思っている。

次に、健康生活支援事業について、禁煙推進・受動喫煙防止啓発推進事業を行っていただいているが、詳しく内容の説明をお願いしたい。

石津福祉保健課長：保健活動推進委員による禁煙推進・受動喫煙防止啓発推進活動を行っている。昨年度までは、旭区民まつりと併せて、健康づくり月間を行っていた。その中でブースを設けて、啓発活動を行ってきた。しかし、昨年はコロナの影響で区民まつりの開催ができなかったため、区役所の1階に禁煙・受動喫煙防止を啓発するブースを設置した。今年度についても同様の活動を行っている状況である。引き続き、そういったブース等を活用した啓発活動に加えて、地区ごとに講座を開催し、啓発活動にご協力いただきたいと考えている。

佐藤議員：よろしくお願ひします。

次に、飼い主のいない猫対策事業について、ボランティア活動の成果で野良猫を見ることが少なくなってきたが、ボランティアの育成をされているとあるが、活動団体はどれくらいあるのか。

亀井福祉保健センター長：令和3年度は17地区で行っている。不妊去勢手術についても177件行っている。

佐藤議員：猫侵入防止機器の貸し出しを行って、猫を捉えて去勢手術をしているのか。

亀井福祉保健センター長：その通りであり、獣医師等の協力を得て、活動を行っている。

2 報告事項について

(1) 令和4年度予算に向けた「区提案制度」の項目について

河治議員：要望として、都市計画道路の整備促進について、新たに整備される鴨居上飯田線の着手に伴いさちが丘周辺の道路が危険にならないようしっかりと対策をとってほしい。

石田土木事務所副所長：鴨居上飯田線と接続する道路の安全性などについては道路局と共有し連携して進めていきたいと考えている。

(2) 横浜市旭区大規模団地再生モデル事業5年間の振り返りについて

大岩議員：モデル事業として、横浜市内にある他の団地に展開していくための事業という認識であった。振り返りや、成果を活かしていただきたいので、しっかりと建築局の中でも旭区の中でも共有していただきたいと思っている。今年度で一旦事業は終了すると聞いているが、今後も団地再生には取り組んでいかなければいけないと思っており、5年で終了となってしまうと旭区としては困ってしまう。来年度からはどういう体制で旭区の3つの大規模団地を支えていただけるのか教えていただきたい。

蒲田区政推進課長：確かに5年間のモデル事業として今年度で終わるとい形になっているが、これまでのモデル事業を通して地域主体の取組が生まれているので、引き続き地域活動の支援を継続していく。予算案の「地域課題の解決に向けた市民協働推進事業」の中にある、大学生入居事業等で予算を計上しているので、来年度も続けていく予定である。区として引き続き取り組みを進めていく。

大岩議員：ずっと話をしていた旧若葉台西中学も次のステップに進むと聞いているので中途半端にならないよう、しっかりと進めていただきたい。

河治議員：ひかりが丘団地のコミュニティハウスの併設について様々な要望を聞いているが、現状と今後どのように進めていくのか教えていただきたい。

蒲田区政推進課長：現状としては、コミュニティハウスの併設などの地域ニーズをとりまとめ、令和2年度に住民説明会を行った。今後は、引き続き早急に本格活用に向けて進めていきたいと考えて

いる。

河治議員：地域の方々にも納得いくような形で進めていっていただきたい。よろしくお願いします。

(3) 鶴ヶ峰連立ニュース第4号の発行について

木内議員：今回、水道道の踏切が地下になるということで、踏切が無くなると渋滞が解消することになる。ただ、踏切が無くなることによって車が減速せずに通過することが予想され、特に駅周辺の横断歩道が危険になるのではないか。安全面を考慮しながら進めていっていただきたい。何かその点について考えがあれば教えていただきたい。

梅津道路局建設部建設課鉄道交差調整担当課長：水道道の踏切が無くなることにより、危険性が増す可能性は考えられる。今のところ具体的な対策予定はないが、今後県警とも協力しながら対策していく必要があると考えている。

河治議員：都市計画道路が予定されている水道道の踏切除却と併せて、水道道の都市計画についてどのように考えているのか教えていただきたい。

梅津道路局建設部建設課鉄道交差調整担当課長：着手時期については未定である。この連続立体交差事業を契機に都市計画道路を進めていく必要がある、事業化として進めていく必要があると考えている。

河治議員：都市計画道路ということは立ち退きの問題も出てくると思うが、地域の方の声を聴いているのであれば教えていただきたい。

梅津道路局建設部建設課鉄道交差調整担当課長：我々の方では特に聞いてはいない。都市計画道路の見直しの過程で説明会は実施しているので、その中で意見がでていたかもしれない。

大岩議員：まちづくりがどうなるのかという点については、都市整備局に問い合わせる。都市計画道路の整備計画について、方向性があれば地域への説明が必要。

梅津道路局建設部建設課鉄道交差調整担当課長：連続立体交差事業で、踏切を10か所除却すると車の動きなども変わってくることも考えられる。渋滞なども予測しながら事業の優先順位をつけていきたいと思っている。

	<p>佐藤議員：用地買収があるということで、特に道路や鉄道だとそれが妨げになって時間を費やすことになると思う。相手があることなので簡単ではないと思うが、是非短期間で出来るよう頑張っていたきたいと思っている。期待しています。</p> <p>3 その他</p> <p>河治議員：学校統合に関わる中原街道の子供達の安全性について、以前の会議で話をさせていただいたが、その後どのように進んでいるのか。</p> <p>中村地域振興課長：先般の市議会議員会議でも質問いただき、すぐに学校統合の所管課である教育委員会事務局学校計画課との調整をしているところである。学校計画課へ確認したが、学校統合に伴い、地域連合自治会、PTAなどのメンバーで構成されている検討会の方からも要望が出ている。その要望に基づいて、警察や道路管理者などとどういった対応ができるのか調整を進めていると聞いている。現在は関係者との調整を進めているところである。</p>
<p>備 考</p>	